



瓊浦高等学校
学校通信
第31号

平成27年3月20日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245



「考え、体験する大切さ」

教頭 中上 敢

今年度も後わずかとなりました。一年間、生徒諸君は多くの場面で、考え、体験し、それぞれの成長が図れたのではないかと思います。このことを、今一度しっかりと確認して、来年度に臨んで欲しいと思います。

中国のある地方では、次のような儀式があるそうです。生まれた赤ちゃんに乳を与える前に、①酢をなめさせる、②塩をなめさせる、③苦い薬をなめさせる、④トゲのある「かぎかずら」をなめさせる、⑤最後に砂糖をなめさせるというものです。これを、「五香の儀式」というそうですが、この世に生まれた赤ちゃんに、人生は、「酸っぱく」「からく」「苦く」「痛い目」に遭わなければ、甘いものにはありつけないことを、身をもって体験させるわけです。

また、健康について書かれた「養生訓」で有名な江戸時代の学者、貝原益軒は「現場主義」を大切にしていたそうです。現場に自分で行き、実際に見て聞いて試す、そして書く。植物学の本などは自分の家の庭で花や薬草を栽培し、その体験を基に著述しました。

情報通信技術の発達により、今、私たちは便利な時代に生きています。お店に行けば自動的にドアが開き、買物をするときもお金の計算をすることなくカード一枚で支払いができます。また、携帯電話でいつでもどこでも相手と話ができます。難しいことはほとんどコンピュータがやってくれるわけです。

このような、私たち自らの手を煩わせないという便利さは、私たちから、「考える」という能力を奪っているようにも思えます。何事も、考え、体験をしなければ自分の力とはなりません。自分の目で見て、自分の耳で聞き、しっかりと考える、そして、自分の身体で体験する。それこそが自分の力となると思います。生徒諸君には、是非、考えること、体験の大切さを理解し実践して欲しいと思います。

また、体験を通じて、人との交流もあります。そこでは、人と人とのふれあいがあり、コミュニケーション能力を高めることもできるのです。

何事も、しっかりと考え、体験し、生徒諸君には、大きく成長して欲しいと思います。

卒業式

第66回卒業証書授与式が、3月1日(日)本校体育館で行われました。普通科105名、情報ビジネス科37名、機械科126名、計268名の卒業生が瓊浦高校から巣立っていきました。古館幸実さん(普3B)は、答辞の中で「自分たちの築いてきたものを受け継いでいってほしい」と、後輩への熱い思いを残していきました。

3年間の高校生活を振り返りながら、卒業生が歌う校歌は、会場の人々の心に響く素晴らしいものでした。

卒業後もそれぞれの進路での生徒たちの活躍を、大いに期待しています。

また、たくさんの保護者の皆様にご参加いただき、本当に感謝いたしております。

これからも瓊浦ファミリーの一員として、ご支援をよろしくお願ひしたいと思います。



《主な行事》 4月

- | | | | |
|--------|--|--------|-----------------------|
| 8日(水) | 始業式・容儀指導
新任式・受納式
入学式・対面式
PTA入会式 | 13日(月) | X線検査
面談週間(～16日) |
| 9日(木) | オリエンテーション①
部活動紹介 | 14日(火) | 避難訓練 |
| 10日(金) | 第1回実力考査
委員任命式
交通講話 | 15日(水) | 身体測定
内科検診 |
| | | 17日(金) | 歓迎遠足(唐八景) |
| | | 20日(月) | 心電図検査(～21日) |
| | | 21日(火) | 勤労体験学習③
内科検診(～22日) |
| | | 22日(水) | 宿泊研修①(～24日) |

強歩大会

天候が心配されましたが、3月6日(金)、毎年恒例の強歩大会が行われました。男子が30キロ、女子が20キロの道のりを仲間と励まし合いながら、足を進めました。

力強く走って行く生徒、友達との会話を楽しみながら歩いていく生徒と、それぞれが1歩ずつ前に進みながら、長い道のりを進んでいきました。

精神的に大きく成長できたのではないかと思います。ゴールした後、うどんを食べている生徒たちの表情には、達成感が満ち溢れていました。

また、うどんの炊き出しに参加いただいたPTAの皆様、お忙しい中、学校行事にご協力いただき、有難うございました。



JAXAによる連携授業

本年度、龍馬コース1年生の総合学習で「長崎の環境について考える」というテーマを設定し、長崎に飛散するPM2.5に着目して学習を進めてきました。その中でJAXAから「はやぶさ」や「はやぶさ2」に直接関わってこられた竹前俊昭先生をお招きし、観測ロケットのことや科学観測の仕方について講演やアドバイスをいただきました。

3月16日(月)、竹前先生による本年度3回目の連携授業を実施しました。今回は、ロケットの原理について身近な道具を用いた実験を取り入れながら、非常に興味深く分かりやすい講義をしていただきました。生徒達も目を輝かせながら積極的に授業に参加しており、講義後の質問も活発になされていました。



また、生徒の中には新しい取り組みのアイデアも出てきた様子もみられ、来年度に向けて新たな目標ができたようです。

凧揚げ大会

快晴の下、3月17日(火)に凧揚げ大会が実施されました。

各クラス、製作期間は短かったものの、骨組みの竹を削る作業や、和紙に絵を描く作業などそれぞれで役割分担をし、作り上げることができました。

様々な工夫を凝らされた凧は、青空に舞い、見る人の心を大きく動かししました。大空高く揚がる凧のように、生徒たちも来年度に向け、羽ばたいてほしいと思います。

～結果～

- 総合優勝 機械科2年C組
- 総合準優勝 龍馬コース2年
- 総合3位 情報ビジネス科1年A組
- 芸術賞 龍馬コース1年



AED講習

1年生は、体育の時間を使いAED講習を実施しました。先生から使い方を聞いた後、自分たちで実際に使ってみて、早めの対応をとることの大切さを知ることができたようです。「普段目にしてはいるものですが、正しい使い方を知らないままだったので、勉強することができてよかった」という意見が多く聞かれました。



美術鑑賞

3月11日(水)午後から、美術を学習しているクラスが、長崎県美術館で美術鑑賞を行いました。大胆に作られている作品でも近づいてみると、繊細な工夫が施してあり、生徒たちは驚きの連続だったようです。自分たちでは普段なかなか向かうことのない場所で、本物の作品に触れ、生徒たちにとって、貴重な経験となりました。



進路指導部より

新3年生は、いよいよ進路決定する年となります。目標達成のためには早めの準備が必要です。この春休みを利用してお子様とよく話し合ってください。そして、6月から始まる三者面談時には、具体的な進路が決定しているように、取り組んでください。新2年生も 目標を早めに設定して「今何をやるべきか」を考えて欲しいと思います。進学・就職指導部は、夢の実現をお手伝いします。気軽に相談に来て欲しいと考えています。

